



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月6日

上場会社名 株式会社ノリタケカンパニーリミテド
コード番号 5331 URL <http://www.noritake.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 財務部長
四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

上場取引所 東名

(氏名) 小倉 忠
(氏名) 中村 吉雅
配当支払開始予定日

TEL 052-561-7116
平成27年12月4日

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	54,004	20.8	1,366	91.3	1,979	58.0	2,394	250.2
27年3月期第2四半期	44,692	6.6	714	—	1,252	—	683	208.5

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 1,217百万円 (△45.2%) 27年3月期第2四半期 2,221百万円 (△55.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
28年3月期第2四半期	16.68	—
27年3月期第2四半期	4.76	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭	円銭
28年3月期第2四半期	141,892	—	82,585	56.1	—	56.1	553.87	553.87
27年3月期	145,836	—	82,817	54.1	—	54.1	549.59	549.59

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 79,533百万円 27年3月期 78,924百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
27年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
28年3月期	—	3.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	110,000	11.1	2,800	27.8	3,800	12.1	3,200	55.4	22.28

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、【添付資料】3ページ 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期2Q	158,428,497 株	27年3月期	158,428,497 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

28年3月期2Q	14,833,253 株	27年3月期	14,821,960 株
----------	--------------	--------	--------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	143,600,471 株	27年3月期2Q	143,625,272 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現状で判断しうる一定の前提に基づいており、今後発生する状況の変化によっては実際の業績と異なる可能性があります。なお、上記の予想の前提条件その他関連する事項につきましては、【添付資料】3ページ 1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の売上高は540億4百万円（前年同期比20.8%増加）、営業利益は13億66百万円（前年同期比91.3%増加）、経常利益は19億79百万円（前年同期比58.0%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は23億94百万円（前年同期比250.2%増加）となりました。

セグメントごとの業績は以下のとおりであります。

（工業機材）

国内市場では、主要客先である自動車の生産回復の遅れに加え、鉄鋼、ベアリングの減産の影響を受け、売上げは微減となりました。海外市場では、景気の減速が一層鮮明となった中国で、鉄鋼向けが生産調整の影響を受け伸び悩み、タイ国も自動車向けが低調でしたが、米国においては自動車生産が堅調に推移したことに加え、円安の影響を受けたことにより、売上げは増加しました。前期第3四半期より連結対象となった日本レヂボンの事業は、インドネシア向けが回復するなど概ね堅調に推移しました。その結果、工業機材事業の売上高は、286億63百万円（前年同期比50.6%増加）、営業利益は7億17百万円（前年同期比141.5%増加）となりました。

（セラミック・マテリアル）

電子ペーストは、MLCC用は国内向けに堅調に推移しましたが、太陽光発電用の売上げは大きく減少しました。石膏は東南アジア向けが好調に推移しましたが、厚膜回路基板は車載用が大きく減少しました。蛍光表示管は国内及び米州向けが堅調であったことに加え、円安の影響を受け増加しました。共立マテリアルの事業は、セラミック原料が好調に推移し、電子部材も微増となりましたので、売上げは増加しました。その結果、セラミック・マテリアル事業の売上高は、146億96百万円（前年同期比6.5%減少）、営業利益は7億60百万円（前年同期比10.6%増加）となりました。

（エンジニアリング）

主力の乾燥炉及び焼成炉は、電子部品向けが堅調に推移したことに加え、リチウムイオン電池向けも増加したことにより、売上げは伸長しました。濾過装置は、顧客の設備投資の先送りの影響を受け減少しましたが、混合攪拌装置は堅調に推移したため、売上げは微増となりました。超硬丸鋸切断機は、国内向けは堅調でしたが、アジア向けが減少しました。その結果、エンジニアリング事業の売上高は、57億70百万円（前年同期比6.8%増加）、営業利益は1億40百万円となりました。

（食器）

国内市場では、百貨店向けが昨年の消費税増税後の低迷から回復し、ホテル・レストラン向けも堅調に推移したことから、売上げは増加しました。海外市場では、当初好調であった米国市場が第2四半期に入って伸び悩み、欧州市場も低調でしたが、アジア市場が好調に推移したため、売上げは増加しました。その結果、食器事業の売上高は、48億74百万円（前年同期比7.4%増加）、2億50百万円の営業損失となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金が減少したことに加え、保有株式の株価下落に伴い投資有価証券の時価総額が減少したことから、前連結会計年度末に比べ39億44百万円減少し、1,418億92百万円となりました。

負債は、1年内返済予定の長期借入金及び流動負債のその他に含まれる設備未払金が減少したことに加え、固定負債の引当金並びにその他に含まれる繰延税金負債が減少したことから、前連結会計年度末に比べ37億13百万円減少し、593億6百万円となりました。

純資産は、利益剰余金が増加したものの、その他有価証券評価差額金及び非支配株主持分の減少により、前連結会計年度末に比べ2億31百万円減少し、825億85百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、長期借入金の返済等により、前連結会計年度末に比べ16億42百万円減少し、89億43百万円となりました。また、当第2四半期連結累計期間におけるフリー・キャッシュ・フローは9億45百万円の増加となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は、前第2四半期連結累計期間に比べ2億72百万円増加し、26億22百万円となりました。これは主に有形及び無形固定資産除売却損益として13億19百万円の計上があったものの、税金等調整前四半期純利益を30億20百万円及び減価償却費を20億40百万円それぞれ計上したことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動に使用した資金は、前第2四半期連結累計期間に比べ5億35百万円減少し、16億76百万円となりました。これは主に有形及び無形固定資産の売却により14億92百万円の収入があったものの、有形及び無形固定資産の取得により28億57百万円支出したことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

前第2四半期連結累計期間において財務活動により得られた資金は3億27百万円であったのに対し、当第2四半期連結累計期間において財務活動に使用した資金は26億78百万円となりました。これは主に長期借入金を13億30百万円返済したこと及び連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得により13億40百万円支出したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の通期業績予想は、平成27年9月30日発表の見通しを修正しておりません。業績予想に修正が必要となった場合には速やかに開示する予定です。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

当第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載し、連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用もしくは連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に関連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の資本剰余金が49百万円減少しております。また、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,530	10,642
受取手形及び売掛金	27,938	27,551
電子記録債権	1,352	1,701
商品及び製品	8,644	8,701
仕掛品	3,829	4,271
原材料及び貯蔵品	4,582	4,585
その他	2,498	2,348
貸倒引当金	△21	△34
流動資産合計	61,354	59,767
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	18,252	17,976
その他（純額）	27,258	27,118
有形固定資産合計	45,511	45,094
無形固定資産		
	1,281	1,255
投資その他の資産		
投資有価証券	34,227	32,405
退職給付に係る資産	2,481	2,295
その他	1,102	1,198
貸倒引当金	△121	△124
投資その他の資産合計	37,690	35,774
固定資産合計	84,482	82,124
資産合計	145,836	141,892
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,108	9,692
電子記録債務	387	3,790
短期借入金	3,400	3,484
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	1,660	551
未払法人税等	695	661
賞与引当金	1,422	1,429
設備関係支払手形	826	253
営業外電子記録債務	—	479
その他	5,485	4,072
流動負債合計	36,985	34,415
固定負債		
長期借入金	15,277	15,052
引当金	832	254
退職給付に係る負債	2,083	2,066
その他	7,841	7,517
固定負債合計	26,034	24,890
負債合計	63,019	59,306

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,632	15,632
資本剰余金	18,832	18,783
利益剰余金	35,735	37,699
自己株式	△3,985	△3,988
株主資本合計	66,215	68,126
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,516	12,131
為替換算調整勘定	△759	△742
退職給付に係る調整累計額	△47	17
その他の包括利益累計額合計	12,709	11,406
非支配株主持分	3,892	3,052
純資産合計	82,817	82,585
負債純資産合計	145,836	141,892

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	44,692	54,004
売上原価	32,867	39,688
売上総利益	11,824	14,316
販売費及び一般管理費		
販売費	8,012	8,823
一般管理費	3,097	4,126
販売費及び一般管理費合計	11,110	12,949
営業利益	714	1,366
営業外収益		
受取利息	20	33
受取配当金	250	288
受取賃貸料	196	160
為替差益	52	35
持分法による投資利益	119	224
その他	49	79
営業外収益合計	689	822
営業外費用		
支払利息	70	86
固定資産賃貸費用	59	92
その他	21	30
営業外費用合計	151	209
経常利益	1,252	1,979
特別利益		
固定資産売却益	2	1,441
投資有価証券売却益	—	22
特別利益合計	2	1,464
特別損失		
固定資産処分損	59	122
減損損失	3	301
その他	0	0
特別損失合計	63	423
税金等調整前四半期純利益	1,191	3,020
法人税、住民税及び事業税	494	789
法人税等調整額	34	△300
法人税等合計	529	488
四半期純利益	662	2,531
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△21	137
親会社株主に帰属する四半期純利益	683	2,394

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益	662	2,531
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,304	△1,394
為替換算調整勘定	98	16
退職給付に係る調整額	161	67
持分法適用会社に対する持分相当額	△6	△3
その他の包括利益合計	1,559	△1,314
四半期包括利益	2,221	1,217
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,113	1,092
非支配株主に係る四半期包括利益	108	124

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,191	3,020
減価償却費	1,637	2,040
減損損失	3	301
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△8	15
退職給付に係る負債及び資産の増減額	359	272
引当金の増減額 (△は減少)	△150	△577
受取利息及び受取配当金	△270	△321
支払利息	70	86
持分法による投資損益 (△は益)	△119	△224
有価証券及び投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△22
有形及び無形固定資産除売却損益 (△は益)	56	△1,319
売上債権の増減額 (△は増加)	928	45
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,239	△511
仕入債務の増減額 (△は減少)	△20	△9
その他	131	127
小計	2,569	2,922
利息及び配当金の受取額	414	321
利息の支払額	△73	△89
法人税等の支払額	△560	△533
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,350	2,622
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△2,508	△2,857
有形及び無形固定資産の売却による収入	9	1,492
投資有価証券の取得による支出	△7	△10
投資有価証券の売却による収入	—	27
貸付けによる支出	△240	△8
貸付金の回収による収入	41	44
出資金の回収による収入	491	—
定期預金の預入による支出	△519	△707
定期預金の払戻による収入	647	975
その他	△126	△634
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,212	△1,676
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,183	91
長期借入れによる収入	5,000	—
長期借入金の返済による支出	△3,054	△1,330
自己株式の取得による支出	△1	△3
配当金の支払額	△430	△430
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△1,340
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の売却による収入	—	334
その他	△0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	327	△2,678
現金及び現金同等物に係る換算差額	△89	90
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	376	△1,642
現金及び現金同等物の期首残高	8,671	10,586
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	105	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,153	8,943

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				
	工業機材	セラミック・ マテリアル	エンジニア リング	食器	計
売上高					
外部顧客への売上高	19,038	15,712	5,403	4,537	44,692
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	297	687	△50	△219	714

(注) 報告セグメントの利益は、営業利益であります。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				
	工業機材	セラミック・ マテリアル	エンジニア リング	食器	計
売上高					
外部顧客への売上高	28,663	14,696	5,770	4,874	54,004
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	717	760	140	△250	1,366

(注) 報告セグメントの利益は、営業利益であります。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「工業機材」セグメントにおいて、遊休状態にあり今後も使用の目処が立たない固定資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失として301百万円を計上いたしました。

【ご参考】平成28年3月期 第2四半期決算短信 補足資料

1. 当期連結業績の概要

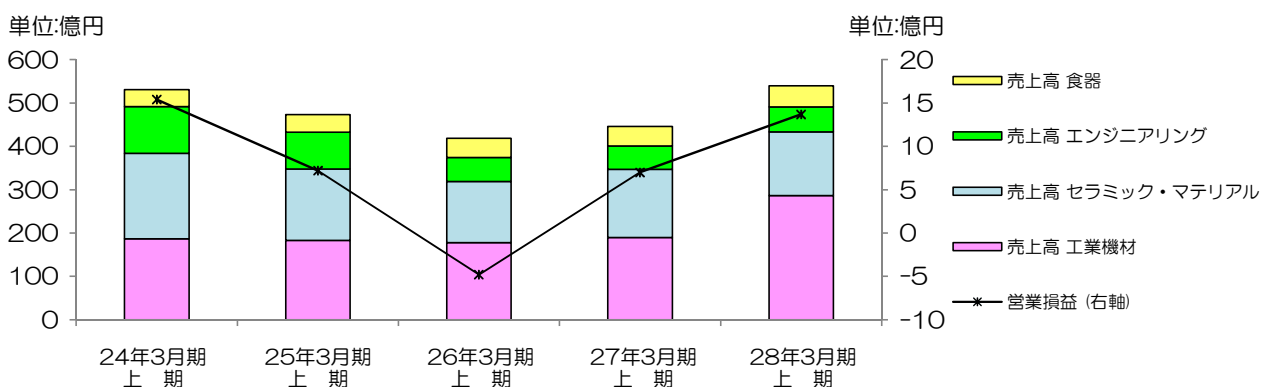
【業績】
売上高 540億円（前年同期比 93億円増収）
US\$18.25円の円安により、売上高 13億円増加
営業利益 14億円（前年同期比 7億円増益） 経常利益 20億円（前年同期比 7億円増益）
【連結の範囲】
連結会社 23社（増減なし） 持分法適用会社 4社（増減なし）
【特別損益】
特別利益 14.6億円：固定資産売却益14.4億円、投資有価証券売却益0.2億円
特別損失 4.2億円：固定資産処分損1.2億円、固定資産減損損失3.0億円等
【中間配当金】
中間配当 3.0円/株（前期中間3.0円/株、前期期末3.0円/株）

(1) 業績推移

（単位：億円 四捨五入）

		平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	対前年同期比
		3月期	3月期	3月期	3月期	3月期	
		上期実績	上期実績	上期実績	上期実績	上期実績	
売上高	工業機材	187	183	178	190	287	96
	セラミック・マテリアル	197	165	141	157	147	△ 10
	エンジニアリング	108	85	55	54	58	4
	食器	39	40	45	45	49	3
		530	474	419	447	540	93
営業利益	工業機材	5.8	2.6	1.6	3.0	7.2	4.2
	セラミック・マテリアル	15.4	5.0	1.0	6.9	7.6	0.7
	エンジニアリング	△ 2.1	2.1	△ 4.8	△ 0.5	1.4	1.9
	食器	△ 3.7	△ 2.5	△ 2.6	△ 2.2	△ 2.5	△ 0.3
		15.4	7.2	△ 4.8	7.1	13.7	6.5
経常利益		19.7	11.9	0.4	12.5	19.8	7.3
親会社株主に帰属する 四半期純利益		45.6	23.4	2.2	6.8	23.9	17.1
1株当たり四半期純利益		32.64円	15.95円	1.48円	4.76円	16.68円	-
1株当たり純資産		436.76円	412.49円	468.75円	490.96円	553.87円	-
US\$ 為替レート		81.8円	79.8円	95.9円	102.2円	120.5円	-

売上高及び営業損益の推移（平成24年3月期上期-平成28年3月期上期）



(2) 設備投資及び減価償却費

(単位：億円 四捨五入)

	平成27年3月期 上期		平成28年3月期 上期	
	設備投資	減価償却費	設備投資	減価償却費
工業機材	6	8	7	11
セラミック・マテリアル	4	4	3	4
エンジニアリング	1	1	0	1
食器	2	1	2	1
管理部門	6	2	8	3
合計	19	16	21	20

(3) 有利子負債

(単位：億円 四捨五入)

	H24年3月	H25年3月	H26年3月	H27年3月	H27年9月	対前期比
有利子負債	218	220	233	303	291	△ 12
現金及び預金	168	111	103	125	106	△ 19
ネット有利子負債	51	109	131	178	184	6

2. 平成28年3月期の予想**(1) 重点施策**

【工業機材事業】 自動車、重電、航空機、電子関連分野での各種用途向け研削研磨工具の新製品開発を推進する。 ダイヤ製品の生産技術力と商品開発力を強化する。
【セラミック・マテリアル事業】 電子、自動車関連分野での差別化商品及び燃料電池等の新分野向け新製品の開発を推進する。
【エンジニアリング事業】 電池、電子、自動車関連分野での新商品・新市場の開発を推進する。
【食器事業】 高額食器の商品開発によるブランド発信と上質日常食器の商品開発を推進する。
【設備投資金額】 設備投資 45億円 減価償却費 40億円

(2) 業績予想

(単位：億円 四捨五入)

	平成27年 3月期	平成28年3月期 業績予想				
		通期実績	上期実績	下期予想	通期予想	通期増減
売上高	工業機材	472	287	293	580	108
	セラミック・マテリアル	304	147	138	285	△ 19
	エンジニアリング	118	58	77	135	17
	食器	96	49	51	100	4
		990	540	560	1,100	110
営業利益	工業機材	9.0	7	8	15	6
	セラミック・マテリアル	15.4	8	4	12	△ 3
	エンジニアリング	2.8	1	3	4	1
	食器	△ 5.3	△ 3	△ 1	△ 4	1
		21.9	14	14	28	6